



輝け！北っ子！

ちょっといい話 ～やさしい一言～

6月30日、地域の方からお電話をいただきました。子どもたちが掛けてくれた一言がとてもうれしかったので電話しましたという話でした。こんな話です・・・。

電話をくださった方は、年配の方で杖をつけて歩くのだそうです。

28日（水）の午後4時頃も、根崎の方に杖をつきながら歩いていると、その近くで水遊びをしていた子どもが、遊びの手を止め、きちんとその方の方をむいて

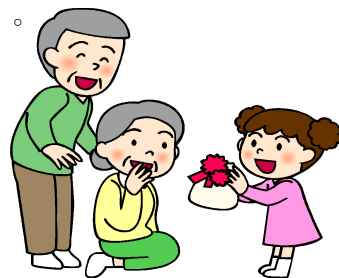
「おばあちゃん 大丈夫？気をつけて。転ばないようにね。」

と声を掛けてくれたというのです。

その方は「とっても幸せな気分になった。」と話していました。

子どもにしてみたら、何気ない一言かもしれません。時間にしたら、何秒もない言葉かもしれませんが、しかし、短い時間であっても声を掛けた子どもの心はしっかりと相手に伝わっていました。相手の心の深いところまで。

優しい子どもたちの言動をきいて、私も少しだけ優しくなったような気がしています。やさしさは広がりますね。



メディアコントロールチャレンジ週間中

7 / 3 (月) ~ 7 / 9 (日)



5年福祉教育出前授業 2

～目の見えない人・見えづらい人の理解～

5年生が先日の手話体験に続き、4日に福祉教育出前授業として今回は、「目の見えない人の理解」を目的に授業を受けました。目隠ししたまま歩く「ブラインドウォーク」も体験しました。

今回の授業は二本松市社会福祉協議会様、県立視覚支援学校様の協力により実現することができました。ありがとうございました。子どもたちは体験を通して目の見えない人の生活や福祉の大切さを学んでいきました。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

----- 切り取り線 -----

